

平成 17 年度当初予算 重点プログラム別概要

元気 7：競争力のある三重の農林水産物創出プログラム

(主担当部局：農水商工部)

- (1) 新「三重ブランド」推進事業
- (2) 「三重の顔」商品力強化支援事業
- (3) 「三重のマハタ」高品質・早期安定種苗生産技術開発事業
- (4) 肉牛の産地間競争力の賦与技術の開発事業
- (5) 海洋深層水施設整備支援事業
- (6) 栽培漁業センター海洋深層水利用施設整備事業

< プログラムの事業費 >

(単位：千円)

	平成 16 年度	平成 17 年度	平成 18 年度	3 か年計
当初計画	357,445	392,000	77,000	826,000 程度
見直し後	381,195	338,957	111,138	831,290

注：見直し後の 16 年度は現計予算額、17 年度は予算要求額、18 年度は同見込額

< 事業目標の見込み >

目標項目		平成 16 年度	平成 17 年度	平成 18 年度
(1) 「三重ブランド」ホームページアクセス数 (件 / 月)	目標値	9,000	10,000	12,000
	実績値	12,000		
(2) 採択農林水産物の認知度の増加率	目標値	0%	5%	15%
	実績値	0%		
(3) 高品質種苗安定生産率	目標値	2.3%	4.2%	6.7%
	実績値	2.5%	-	-
(4) 脂肪質を低下させる条件の提示数 (累計)	目標値	1 件	2 件	5 件
	実績値	1 件	-	-
(5)(6) 海洋深層水利用水量	目標値	120 トン	120 トン	2,885 トン
	実績値	60 トン	-	-

< 進捗状況 (現状と課題) >

三重ブランドについては、平成 15 年度に認定された 3 品目を加え、現在 8 品目 5 2 業者を認定しています。今年度は、三重ブランドの情報発信をより効果的に実施するため、認定事業者及び認定品を取り扱う業者と県が、協働して総合的な情報発信をモデル的に実施します。次年度以降に意欲的な事業者の創意工夫により、自主的な取組として

情報発信が展開していくためには、この取組が効果的に活用され、消費者の三重ブランド認定品に対する認知度と評価が高まっていくことが必要です。

「三重の顔」商品力強化支援については、平成 16 年度から 18 年度までの 3 か年で取り組む「産地構造改革プログラム」として、審査委員会の審議を経て現在、6 事業者 6 品目の計画が、優秀プログラムとして認定されました。今後、各事業者が事業を実施していくにあたり、進行管理の観点から、専門家も含めた年度毎の事業の進捗状況や計画を確認する機会を設定し、状況に応じてより効果の高い事業が実施できるようにしていく必要があります。さらに海洋深層水施設の整備に着手しました。

<平成 17 年度の取組方向>

産地間競争に負けない競争力のある農林水産物を育てるため、全国に通じる高い商品力をもった農林水産物や加工品を生産しようとする意欲的な生産者等を支援することで、ブランド化に向けた取組に対する生産者等の意識も高まりつつあることから、高付加価値化への取組の一層の活性化を図るほか、新品種の開発や高品質化への技術的なサポート、さらに海洋深層水の利活用を進めます。

<主な予算要求事業>

新「三重ブランド」推進事業【17 年度事業費 37,000 千円】

全国に通じる高い商品力があり、三重県に対するイメージの向上につながる県産品及びその生産又は製造を行う事業者等を「三重ブランド」として認定・情報発信するとともに、新たな「三重ブランド」創出への支援を行います。

「三重の顔」商品力強化支援事業【17 年度事業費 26,450 千円】

「三重の顔」やその候補品目のなかで、意欲的な生産者や団体等が自ら策定した「産地構造改革プログラム」の実践を支援し、産地間競争に負けない競争力のある農林水産物を育てます。

「三重のマハタ」高品質・早期安定生産技術開発事業【17 年度事業費 11,772 千円】

新しい養殖魚種「マハタ」の高品質種苗の大量安定生産技術を確立するため、生残率の向上、形態異常魚対策、ウイルス病対策の課題解決に取り組みます。

肉牛の産地間競争力の賦与技術の開発事業【17 年度事業費 3,000 千円】

県内産和牛の肉質について脂肪質の観点から分析し、飼養管理技術等の改善点を明らかにし、ブランドとして更なる高品質化を図ります。

栽培漁業センター海洋深層水利用施設整備事業【17 年度事業費 36,076 千円】

尾鷲市古江地区に尾鷲市が整備する海洋深層水取水施設から尾鷲栽培漁業センターへの配管等を敷設し、アワビ類、マハタ等の種苗生産へ利用できるよう整備を行います。